

## 会議要旨

会議名 (審議会等)	第2回南あわじ市文化財保護審議会	
事務局 (担当課)	南あわじ市教育委員会 社会教育課	
開催日時	令和7年12月9日(火) 14時00分~16時30分	
開催場所	南あわじ市役所第2別館第5会議室	
委員		堀部るみ子、竹田俊道、小野昌一、岡崎正信、前田拓也、 関口功、木田徹、吉田文洋、
出席者	事務局	真野匡史(社会教育課長) 前田直樹(社会教育課係長) 横山留依(社会教育課主事) 山崎裕司(埋蔵文化財調査事務所主任)
議事		(1) 門崎砲台跡の活用について (2) 文化財の市指定について (3) その他
議事要旨	別紙のとおり	

## 第2回南あわじ市文化財保護審議会 議事要旨

### ○ 議 事

#### (1) 門崎砲台跡の活用について

- 門崎砲台跡に関するソフト事業（小学生向けの戦争遺跡のパンフレット印刷や副読本の掲載内容検討、デジタルコンテンツの導入等）について、現在の進捗状況の確認と、今後の予定について確認を行った。
- 建議書で提案されたデジタル技術（AR）の活用と屋内展示物（ジオラマ模型等）の製作について、XRの活用に変更する旨の説明が事務局よりされ、出席者8名のうち会長を除く7名の賛成により承認された。その際、下記の意見が出された。
  - ・大鳴門橋記念館内にも道の駅うずしおに設置した看板のような門崎砲台の解説を設置してはどうか。
  - ・デジタルコンテンツを見てもらえるように大鳴門橋記念館内に誘導看板を設置してはどうか。
  - ・道の駅にジオラマ模型等を設置する場所がないというのは納得できる。
  - ・門崎砲台の普及啓発をするためには観光客向けの戦略も必要になる。
  - ・発見地から近い場所で普及啓発ができるべきだと考えていた。
  - ・XRを導入して終わりではなく、発展的な取組であってほしい。

#### (2) 文化財の市指定について

- 今後の市指定文化財の方向性について確認を行い、委員からは下記の意見が出された。
  - ・護国寺文書の市指定を進めていく。
  - ・文化財指定を進めていく中で、中世史の専門家にアドバイザーとして入ってほしい。⇒事務局が県文化財課や県立歴史博物館へ確認。
  - ・今後は時間をかけて審議し、文化財指定を行っていく。

#### (3) その他

- 市指定に至っていない文化財（特に無形民俗文化財）にかかる支援に当たり、審議会の協力のもと交付基準の策定を進めていく旨を説明する。委員からは下記の意見が出された。
  - ・補助金額を決めることまではできないが、交付基準は必要と考える。
  - ・市指定はされていない文化財も価値がある。
  - ・文化財の維持管理または普及啓発に努める団体に対して、市として支援していくことは必要と考える。

⇒今後、文化財保護審議会で交付基準を策定し、市指定に至っていない文化財の保存についても審議していきたい。

# 令和7年度 第2回 南あわじ市文化財保護審議会 次第

日時 令和7年12月 9日 (火)  
午後2時から  
場所 市役所第2別館 第5会議室

## 1. 開 会

## 2. 報告事項

- ・門崎砲台跡看板設置について
- ・門崎砲台跡調査報告書への掲載について

## 3. 議 事

- (1) 門崎砲台跡の活用について
- (2) 文化財の市指定について
- (3) その他

次回委員会日程について

月 日 ( )

## 4. 閉 会